

経営比較分析表（令和元年度決算）

京都府舞鶴市 舞鶴市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	訓	^
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
81,963	4,671	非該当	20:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

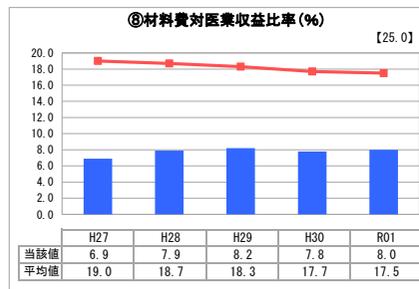
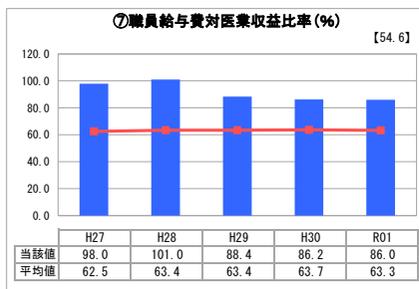
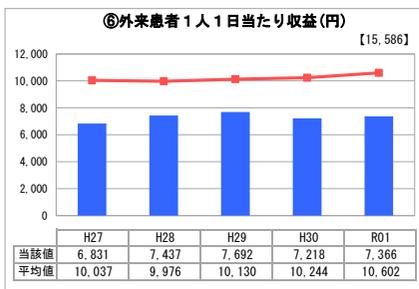
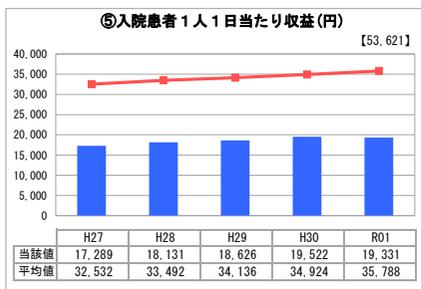
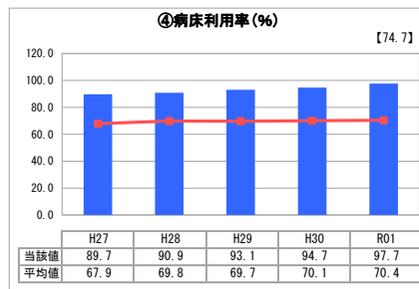
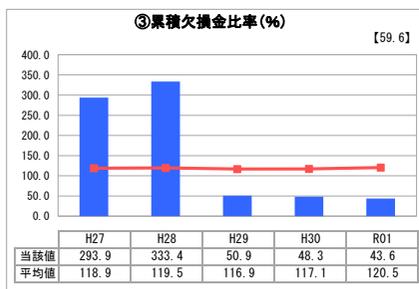
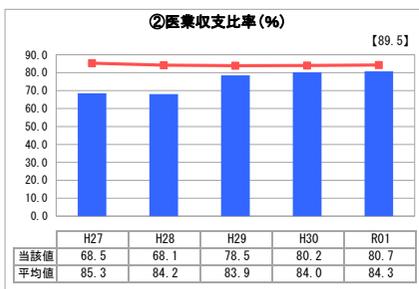
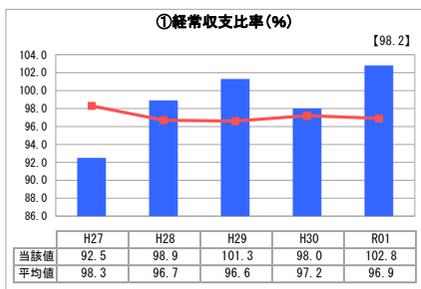
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	100	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	94	94

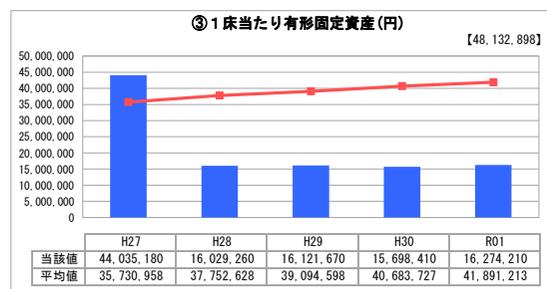
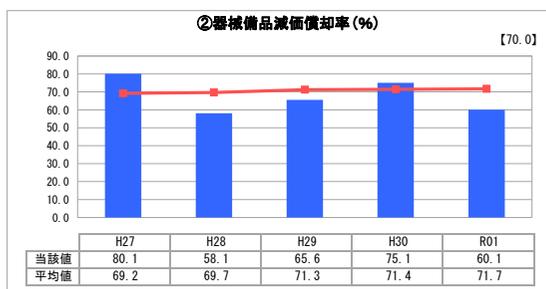
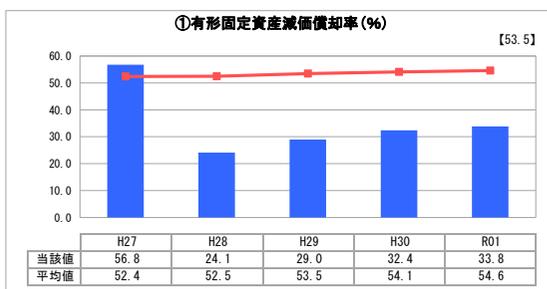
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

平成26年度から療養病床に特化した医療療養型病院として、急性期医療を担う市内公的3病院との連携を緊密に図りながら、地域に不足する慢性期医療の確保に努めています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

④高い病床利用率を維持していることから、①経常収支比率及び②医業収支比率が向上しています。一方で、収益性の低い医療療養型病院であるため、⑤入院患者1人1日当たり収益は平均値に比べ低く、また、⑦職員給与費対医業収益比率は平均値に比べ高くなっています。

2. 老朽化の状況について

平成26年の新病院移行に伴い、旧病院の病棟を平成28年に処分したことから、①有形固定資産減価償却率が低くなっています。一方で、器械備品については、その多くを旧病院から引き継いでいるため、平均値に近い減価償却率となっています。老朽化した器械備品については、その必要性と優先順位を検討の上、今後計画的に更新を行います。

全体総括

市立舞鶴市民病院は、慢性期医療に特化した医療療養型病院であるため、急性期医療を主とする病院を含む平均値と比べて、1人1日当たり収益率が低く、また、職員給与費対医業収益率は高くなっています。これは、慢性期医療が急性期医療に比べて収益性が低いことによるものです。その一方、病床利用率は平均値に比べて高くなっており、これは地域における慢性期医療のニーズに対応した結果として、高い稼働率に繋がったことを示しています。今後も、引き続き地域の医療ニーズに対応べく、高い病床利用率を維持するとともに、経常収支比率及び医業収支比率の向上に努めます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。